Imagica Robot Holdings Inc.

NEWS RELEASE

各　位

平成 25 年 9 月 25 日

会　　社　　名　株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス
代表者の役職氏名　代 表 取 締 役 社 長　長　瀬　朋　彦
（コード番号：６８７９　東証第二部）
問 合 わ せ 先　取締役常務執行役員 経営企画本部担当　角　田　光　敏
Ｔ　　Ｅ　　Ｌ　０３－６７４１－５７５０

文化庁映画賞を受賞

～IMAGICAウェスト顧問 須佐見 成が平成25年度文化庁映画賞を受賞～

当社子会社の株式会社IMAGICAウェストの顧問 須佐見 成（すさみ あきら）が、長年に亘る関西映画界への貢献とフィルムアーカイブ事業への取り組みを評価され「平成25年度文化庁映画賞（映画功労部門）」を受賞しましたことをお知らせいたします。

「文化庁映画賞」とは、文化庁が我が国の映画芸術の向上とその発展に資するため、優れた文化記録映画作品（文化記録映画部門）及び永年にわたり日本映画を支えてこられた方々（映画功労部門）に対する顕彰を平成 15 年度より実施しているものです。

（添付資料　全 1 枚）
株式会社 IMAGICA ウェスト　ニュースリリース
『IMAGICA ウェスト顧問 須佐見 成が平成 25 年度文化庁映画賞を受賞』

以上



2013 年 9 月 25 日
株式会社ＩＭＡＧＩＣＡウェスト

IMAGICA ウェスト顧問 須佐見 成が平成 25 年度文化庁映画賞を受賞

㈱IMAGICA ウェスト（本社大阪市北区、代表取締役社長:稲土広己）は、顧問 須佐見 成（すさみ あきら）が、長年に亘る関西映画界への貢献とフィルムアーカイブ事業への取り組みを評価され「平成 25 年度文化庁映画賞（映画功労部門)」を受賞したことをお知らせ致します。

「文化庁映画賞」とは、文化庁が我が国の映画芸術の向上とその発展に資するため、優れた文化記録映画作品（文化記録映画部門）及び永年にわたり日本映画を支えてこられた方々（映画功労部門）に対する顕彰を平成 15 年度より実施しているものです。

(須佐見 成 コメント)

このたび、栄誉ある賞をいただくことができましたことを心より感謝いたします。私のように映画分野で働く者にとっては当然のことですが､映画は多くのスタッフやキャストの働きによって作られます。今回の受賞はこれまでにお世話になった多くの映画関係者や諸先輩、同僚、さらには家族の支援があってのことです。関係者の皆様に、先ずお礼を申し上げます。

15 年前には、東京国立近代美術館フィルムセンター様から依頼を受けた「瀧の白糸」の復元作業に携わるという貴重な経験をさせていただきました。そのことが、弊社がフィルムアーカイブや復元事業に目を向けるきっかけとなりました。

今後は益々、後進の指導に励み、フィルム技術の伝承に力を入れていきたいと思っております。

(略　歴)

須佐見 成（すさみ あきら）

昭和42年（株）東洋現像所（現IMAGICA）入社。平成12年（株）IMAGICAウェスト取締役フィルム事業部長、同社常務取締役を経て、現在同社顧問。

フィルムカラータイマーとして、作品の画調を統一しネガからポジまでのフィルム管理を担当。平成12年よりフィルム文化を残すことを目的にフィルムアーカイブ事業を立ち上げ､日本のフィルムアーカイブの先駆けとなる｡現在も現役として後進の指導にあたりながら､フィルムアーカイブの普及に努めている。

修復作品「瀧の白糸」「何が彼女をそうさせたか」「三朝小唄」など多数。

文化庁報道発表

http://www.bunka.go.jp/ima/press_release/pdf/eigashou_130912_ver3.pdf

＜本件に関するお問い合わせ先＞
経営管理部　広報担当　五郎丸・藤井
TEL06-6353-1714　FAX06-6353-1727